



「食品ロス削減」から「脱炭素」へ向けて！

赤穂市 市民部 環境課

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です！

「食品ロス削減」と「脱炭素」には、深い関係性があります。

<1>食品ロスとは？

「食品ロス」とは、まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことです。

日本の「食品ロス」発生量は、令和3年度に約523万トン（事業者から約279万トン、家庭から約244万トン）と推計されています。（農林水産省及び環境省「令和3年度推計値」より）

食品ロスを国民一人当たりで換算すると、「お茶碗約1杯分（約114グラム）の食べもの」が毎日捨てられていることとなります。



年間で国民一人当たり
約42kgを廃棄

国民一人当たりが、お茶碗約1杯分の食べもの（約114グラム）を毎日廃棄



令和3年度「食品ロス発生量」
農林水産省及び環境省「令和3年度推計値」

単位:万トン



<2>「食品ロス」と「脱炭素」の関係性

「食品ロス」を含む一般廃棄物を焼却する際に、二酸化炭素（CO₂）が発生します。

また、食品は多くの水分を含むため、焼却の際は、多くのエネルギーを使用します。



「食品ロス」削減に取り組むと

100万トンの「食品ロス」を削減すれば、46万トンの二酸化炭素（CO₂）を削減できます。

食品ロスに係るCO₂排出原単位：0.46 t-CO₂/t※
（食品分類ごとに食品1トンの原材料調達・生産に係るCO₂排出原単位に食品自給率を乗じ、家庭からの食品ロス量に係る構成比で加重平均したもの。）

※出典：令和3年10月22日閣議決定「地球温暖化対策計画」



【今日からできる「食品ロス削減」】

<食品ロスを減らす3つのコツ> ①買いすぎない（家にある食品と照らし合わせ、また、予定を考え、必要な分だけを購入。）

②作りすぎない（体調や家族の予定などを考え、作りすぎない。）

③食べ残さない（作った料理は、早めにおいしく食べきる。）

<家庭で食品が余ったら...> フードドライブへの協力（フードドライブ：家庭で余った食品や日用品等を集め、必要な方や支援団体へ寄付する活動。）赤穂市社会福祉協議会では、「フードドライブ回収BOX（総合福祉会館1階ロビー）」を常設中です。

「フードドライブ回収BOX」の詳細については、赤穂市社会福祉協議会へお問い合わせください。